

見える化シート

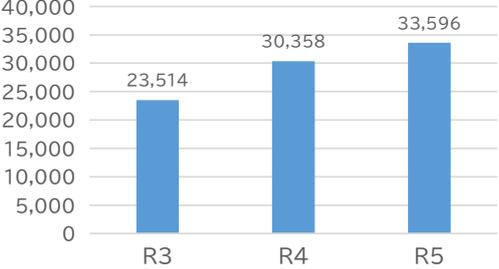
基準日

令和6年3月31日現在

基本情報

施設名称	埋蔵文化財センター是川縄文館	
所在地	八戸市大字是川字横山1	
所管部署	是川縄文館	
設置の目的	埋蔵文化財の調査、研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与するための拠点として設置するもの。	

管理・運営の概要

土地	土地面積	13,752.55	m ²	所有状況	市有地			
	用途地域	市街化調整区域						
建物	建物名称	埋蔵文化財センター是川縄文館						
	建築年月日	平成22年3月25日						
	延床面積	4,715.53	m ²	構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階数	地上 2	地下 -
	整備費用	2,242,439	千円	財産区分	行政財産			
	耐震診断	不要		診断結果	-			
運営	開館時間	9:00~17:00						
	休館日	月曜日(祝日等の場合はその翌日)、年末年始						
	開館日数(日)	R3	222	R4	313	R5	312	<p>延利用者数(人)</p> 
	運営形態	直営						
利用	主な利用者	市民(全市的)		観光客		-		
	延利用者数(人)	R3	23,514	R4	30,358	R5	33,596	
	1日当たり利用者数(人)	R3	106	R4	97	R5	108	
利用料金	入館料	一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 (特別展開催期間は特別料金)					貸館利用料	

※3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館あり。

※令和5年4月1日から中学生以下無料。市内在住の65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。

(利用料金の詳細については施設ホームページに掲載)

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	95		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~17:00	原付・バイク	-			
入出庫時間	9:00~17:00	自転車	有		15	7
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	○		-	-
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
-	-	-	-	-		

施設運営費の状況		(単位:千円)						
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			地元 発注率		地元 発注率		地元 発注率	
支出	人に係る経費	123,628	/	117,886	/	118,404	/	
	企画運営費	27,925	81%	29,286	88%	27,230	90%	
	施設の維持管理費		84,819	96%	89,952	94%	94,295	93%
		うち、光熱水費	16,301	/	22,628	/	23,456	/
		うち、委託料	51,854	100%	51,505	100%	54,366	100%
	合計	236,372	/	237,124	/	239,929	/	
収入 (財源)	使用料	3,051		4,761		5,161		
	その他	4,621		1,680		2,029		
	一般財源	228,700		230,683		232,739		
	合計	236,372		237,124		239,929		
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和5年度)				
<p>1. 人に係る経費 展示や各種講座など教育普及事業や史跡整備、世界遺産の保全活用、施設運営及び管理に12人、埋蔵文化財の発掘調査及び収蔵品整理に8人の職員が従事しています。休館日は週1回で土日祝日勤務もあることから、シフト制により、施設の運営に必要な職員が確保できる体制をとっています。</p> <p>2. 企画運営費 企画展示のほか各種講座の開催、体験学習の実施などの教育普及や、公共交通手段であるバス運行負担金、世界遺産登録PR等、是川遺跡の価値を発信するための経費です。</p> <p>3. 施設の維持管理費 光熱水費の大部分は、収蔵する文化財を適切な環境で保存管理するために必要な空調設備の運用に係る電気使用料です。委託料は、設備の保守点検や植栽の手入れ等の施設管理業務のほか、受付や有人警備、展示物の解説等の業務に係る経費です。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは図録やグッズの売上収入と建物貸付収入です。</p>				<p>維持管理費(その他) 7%</p> <p>維持管理費(委託料) 23%</p> <p>人に係る経費 49%</p> <p>維持管理費(光熱水費) 10%</p> <p>企画運営費 11%</p>				

取組の状況																					
設置条例	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例																				
運営方針等	是川遺跡や風張1遺跡などを通して、東北地方の優れた縄文文化を発信します。市内の埋蔵文化財の調査・研究及び出土文化財の整理・収蔵を行うとともに、調査記録等の積極的な公開活用と適切な保存管理を図ります。																				
取組の内容	<p>1. 施設の特徴 開館からこれまでに、常設展示と企画展示や講座・体験学習などの教育普及事業等を通じて約36万人が来館しました。また、文化財保護法に基づき、開発によって失われる遺跡の発掘調査や報告書刊行を確実に進め、八戸の歴史を紐解く貴重な情報を蓄積することができました。調査研究では、東京大学や弘前大学との共同研究を行い、縄文時代における環境変動と人の関わりについて研究を推進し、土器の変遷と地域間交流へと研究を進展することができました。</p> <p>2. 事業概要</p> <p>令和5年度実績・是川縄文館「年報」第13号より(https://www.korekawa-jomon.jp/information_kankobutsu/)</p> <p>(1) 企画展示の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展示名</th> <th>観覧者数</th> <th>会期(日数)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>是川遺跡の皿形土器</td> <td>3,215</td> <td>R5.4/1~R5.5/7(34日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北陸の晩期縄文文化</td> <td>7,266</td> <td>R5.7/15~9/3(50日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘りdayはちのへー発掘資料展ー</td> <td>5,442</td> <td>R5.10/7~11/26(43日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>是川遺跡の土製品</td> <td>3,303</td> <td>R5.12/16~R6.3/31(83日)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	企画展示名	観覧者数	会期(日数)	備考	是川遺跡の皿形土器	3,215	R5.4/1~R5.5/7(34日)		北陸の晩期縄文文化	7,266	R5.7/15~9/3(50日)		掘りdayはちのへー発掘資料展ー	5,442	R5.10/7~11/26(43日)		是川遺跡の土製品	3,303	R5.12/16~R6.3/31(83日)	
企画展示名	観覧者数	会期(日数)	備考																		
是川遺跡の皿形土器	3,215	R5.4/1~R5.5/7(34日)																			
北陸の晩期縄文文化	7,266	R5.7/15~9/3(50日)																			
掘りdayはちのへー発掘資料展ー	5,442	R5.10/7~11/26(43日)																			
是川遺跡の土製品	3,303	R5.12/16~R6.3/31(83日)																			

取組の状況

(2) 講座等イベントの実施

イベント名	参加者数	開催回数等	備考
考古学講座	306	6回(前期3・後期3)	外部講師による講演
これかわ考古学クラブ	33	6回	小中学生向けの体験講座
企画展示ギャラリートーク	160	17回(特別展8・企画展9)	当館学芸員による展示解説
企画展考古学講座	117	2回(特別展1・企画展1)	外部講師による企画展に関連した講演
サポートスタッフ研修会	240	12回(前期6・後期6)	展示解説・体験学習指導の研修会
縄文の布を編む講座	15	R5.9/2開催	当館学芸員等による解説・制作指導
縄文土器作り講座	延べ58	3回(素地土作り,成形,野焼き)	当館学芸員等による制作指導
日曜日縄文体験コーナー	672	43回	火起こし,勾玉作り等
土曜日体験教室	100	5回	縄文クッキング,土偶作り等
学芸員講座(館内)	202	8回	当館学芸員等による講話(館内)
学芸員講座(館外)	263	9回	当館学芸員等による講話(館外)
ボランティアによる体験学習指導	1,830	55回	団体来館者への勾玉・土器作り等の指導
遺跡調査報告会	60	R5.11/11開催	館内開催
是川縄文まつり	771	R5.8/20開催	縄文体験,ステージ企画,抽選会等
是川縄文の日	905	R5.11/3開催	遺跡ツアー,縄文体験,クイズ,出土品展示等
第7回是川縄文の里俳句大会	20	R5.11/19表彰式	応募数759
えんぶり鑑賞会	255	R6.2/25開催	妻神えんぶり組による摺り披露

(3) 学校見学等の受入れ

イベント名	学校	人数	備考
見学・体験	23	1,806	市内:1,294人/市外:512人 ※市外は学校数不明
修学旅行	1	10	
はっふる隊	13	626	八戸圏域広域的体験学習支援事業

(4) 常設展示の実施

- ・展示点数 551(うち国宝1・重要文化財445)
- ・展示替え(漆製品・木製品など)
- ・最新研究報告の更新(第8回「新田城跡の発掘調査」)
- ・保守点検(業務委託)

(5) 史跡是川石器時代遺跡に関する取組

① 史跡整備に関する取組

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業です。H27に保存活用計画、H29に第1期整備基本計画を策定し、R1に第1期整備基本設計を行いました。第1期整備は、縄文時代晩期の中居遺跡を対象としています。同遺跡はR3に世界遺産となりました。

- ・史跡用地取得(R5年度末の進捗率:約90%)
- ・維持管理(除草・清掃等)
- ・クリーンデー(市民参加・2回開催)
- ・第1期整備(地形造成に係る実施設計)



常設展示室



整備イメージ

取組の状況

②世界遺産に関する取組

- 世界遺産一覧表記載(登録)決定 R3.7/27
- 世界遺産登録PR事業
 - ・世界遺産登録記念サイン掲出(バナーフラッグ・広告塔・看板・のぼり)
 - ・世界遺産是川石器時代遺跡パンフレット配布
 - ・世界遺産登録PRラッピングバス(R3.12～市営バス1台)
 - ・社会科副読本「世界遺産になった是川石器時代遺跡」の制作・配布(小学校6学年全生徒に配布・PDF公開)
 - ・北海道・北東北の縄文遺跡群パネル展示
 - ・JR東日本新幹線車内誌「トランヴェール」広告掲載
 - ・JR東日本東京駅、上野駅構内デジタルサイネージ広告
- 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存管理
 - ・経過観察の実施(年次報告書データ提出)
 - ・遺産影響評価の実施(史跡整備関係)



デジタルサイネージ広告(上野駅)

(6)資料の収蔵管理・保存修理など

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や写真・図面などの調査記録、関連図書の収集・収蔵・再整理・データベース化・保管を実施しています。令和5年度は出土品11箱145点、図書1,539冊のデータ登録を実施しました。

①収蔵管理

名称	数	備考
国宝 青森県風張1遺跡出土 土偶	1点	
重要文化財 青森県風張1遺跡出土品	663点	附 炭化米2点
重要文化財 青森県是川遺跡出土品	963点	
八戸市内 遺跡出土遺物	3,000箱	H11年度以降の出土品,風張・是川遺跡出土品を収蔵
図書	59,294冊	

②保存修理

名称	数	備考
八戸市内遺跡出土鉄製品保存修理	9点	蹄鉄などの保存修理業務委託
是川遺跡美術工芸品保存修理事業	25点	壺形土器・漆製品の保存修理業務委託

③利用状況

種別	件数	資料数	備考
画像資料貸出・利用	122	353	書籍掲載・テレビ番組利用など
JOMON ARCHIVES	14	—	縄文遺跡群共同ホームページからの利用申請
実物資料貸出	10	685	八戸市博物館・三内丸山遺跡センター等

(7)広報・情報発信

種別	回数等	備考
是川縄文館ホームページ更新	79	閲覧数142,798
広報はちのへ掲載	12	イベントあらかると12回・連載3回・特集2回
新聞記事	3	企画展3回
新聞広告掲載	10	特別展5回,企画展5回
BeFM「施設ガイド」	6	ラジオ番組に隔月で出演
図録等刊行	5	埋蔵文化財ニュース,特別展図録,研究紀要,年報,社会科副読本

取組の状況

(8)埋蔵文化財に関する取組

八戸市内491箇所の遺跡内にて、開発行為がある場合、文化財保護法に基づき、現地確認・試掘調査・工事立合を行い、遺跡が破壊される場合は発掘調査を実施し、記録保存を行っています。令和5年度は22遺跡30件4,645㎡の発掘調査を実施し、2冊の報告書を刊行しました。また、埋蔵文化財ニュースを発行・配布しました。



発掘作業(松ヶ崎遺跡)

書名	備考
第185集「石橋遺跡第12地点」	R6.3/22発行
第186集「八戸市内遺跡発掘調査報告書50」	R6.3/22発行

(9)研究活動の実施

【研究】

①研究紀要第13号の刊行、②論文発表等5件、③講話等9件、④他機関への指導・協力1件

【共同研究】

○第4期共同研究「編組技法からみた縄文時代の技術知の解明」

金沢大学と共同し、中居遺跡の藍胎漆器や繊維・編組製品の分析による、素材・製作技法の解明を目的として、3カ年計画で実施します。令和5年度は、藍胎漆器のX線CT撮影及び構造解析、製作技法の検討、現生植物調査のほか、土器底部に残存する編組圧痕の調査、復元製作に向けたスズタケ採取調査を行いました。また、最終年度に開催予定の企画展に係る借用展示品の資料調査を実施しました。

(10)連携事業の実施

団体名	内容
放送大学	R5.11/25-26 是川遺跡・是川縄文館での面接授業の講師
千葉学園高等学校	[[縄文にときめく]~オリジナルグッズでもっと縄文が好きになる~]事業への協力 ※八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金活用事業 (縄文グッズの制作・販売や、制作体験イベント開催に係る助言・会場提供)
北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議 漆産業振興専門部会	R5.11/4-5 「浄法寺漆× 是川縄文~縄文時代と現代を繋ぐ漆~」への協力 (漆掻き実演、制作体験の会場提供)



「是川縄文の日」での縄文グッズ販売



漆掻き実演

3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	119,973
	企画運営費	28,147
	施設の維持管理費	89,689
	うち、光熱水費	20,795
	うち、委託料	52,575
	合計	237,809
収入 (財源)	使用料	4,324
	その他	2,777
	一般財源	230,708
	合計	237,809

(1) 施設維持管理について

① 施設維持管理の状況

是川縄文館は、重要文化財等を多数収蔵しており、特に収蔵庫は空調設備を24時間稼働させ、適切に温湿度管理をしなければならず、一定の維持管理費を要しています。

光熱水費の約95%を占める電気使用料の削減のためには、照明設備のLED化や高効率の空調設備の導入などの抜本的な対策が必要となっています。

また、建設から10年が経過し、耐用年数を迎える設備も増えており、修繕料や更新費用は年々上昇しています。

② 維持管理費削減の取組

令和6年度から10年度までの5箇年計画で、照明設備のLED化工事を行います。

設備を適切な状態で維持するとともに、コスト縮減や財政負担の平準化を図るため、令和2年度に策定した個別施設計画に基づき、設備の修繕や更新を計画的に進めます。

また、収蔵品の管理や来館者の観覧環境に支障のない範囲で、空調設備の設定温度の調節や公開エリア以外の間引き照明等を実施するとともに、雨水をトイレの洗浄水として利用するなど、光熱水費の削減に努めています。

(2) 財源の見通しについて

市税や地方交付税などの一般財源を活用し料金水準を抑えることで幅広い利用を促すとともに、国宝・重要文化財の展示や世界遺産として、縄文文化を積極的に紹介することで来訪者を呼び、地域経済への波及効果の確保に努めています。

また、その他収入としてオリジナルグッズ販売収入等を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていきます。